

## 第2回飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進協議会 抄録

日時:令和8年2月20日(金)13時～

場所:家庭動物啓発センター

出席者 一般社団法人 ねこ99福岡  
一般社団法人 福岡市獣医師会  
ライフリレー博多ねこ  
[sakuraneko]  
福岡市動物愛護管理センター 吉柳 善弘、三坂 征嗣、  
岡本 拓郎  
福岡市生活衛生課 藤沢 大、松寄 典子、  
小杉 岳童

- 概要と実績
  - 令和7年度の事業として、支援対象頭数を1,600頭に拡大したことに伴う課題と対策を協議。
  - 公募枠の1次・2次募集では合わせて1,000頭の枠に対し、774頭が手術を実施。
  - 昨年度の公募枠の実績(200頭中142頭、実施率約7割)に対し、今年度は募集頭数を拡大したにもかかわらず実施率が向上(約8割)した。
- 公募枠の運用とスケジュールに関する検討
  - 少なくとも3年間は現行方式を継続し動向を見るべきとの意見が出され、来年度も同様に進めることが提案された。追加募集は実施状況を見て判断する。
- 猫の捕獲スキル習得支援
  - 6月の手術開始前に、捕獲器の設置方法などに関する講習会(レクチャー)を開催する案が提案された。
  - 捕獲方法を解説する動画教材を作成し、チケット発送時に二次元コードを同封して限定的に公開する案が出された。
- 感染症(SFTS)への注意喚起
  - 活動者の安全確保のため、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)への注意喚

起の必要性が強調された。

- 特に弱っている猫は感染リスクが高いため、安易に手を出さないよう周知することが重要。

以上